

“気”を描く—特集・鈴木竹柏

会 期 2021年6月26日(土)～2021年9月5日(日)

文化功労者、日本芸術院会員として活躍した鈴木竹柏は、幽玄かつ重厚な風景画を描き、理事長、会長として日展を率いた現代日本を代表する日本画家です。大正7(1918)年、神奈川県逗子市に生まれ、19歳で同じ逗子にアトリエを構えていた日本画家・中村岳陵に入門、その内弟子となって師と起居を共にしながら、日本画の技術と画家としての姿勢、身近な自然に美しさを見つける感性を学びました。師が所属した日展に出品し、日展の気鋭作家らが結成した一采社や始玄会等にも参画し、多くの画家と交流しながら研鑽を積み、現代日本画界を牽引する画家のひとりとして、令和2(2020)年に没するまで精力的に作品を発表し続けました。本展覧会では、3階展示室に妙義山を描いた日展出品作《煌》をはじめ、風景に内在する“気”をとらえ表現した作品19点を特集して展示します。

鈴木竹柏が希求した“気”とは、日本画を含めた東洋絵画で重視される“気韻生動”に帰結し、自然が放つ不可視の存在感をいいます。今回、鈴木竹柏の特集展示とあわせ、風景画および花鳥画等を4階展示室で紹介し、日本画における気韻生動の表現を見ていただきます。また、あわせて新しく収蔵した書や浮世絵も紹介します。

会 場 高崎市タワー美術館 (〒370-0841 高崎市栄町3-23 電話 027-330-3773)

開 館 時 間 午前10時～午後6時(入館は午後5時30分まで)

金曜日のみ 午前10時～午後8時(入館は午後7時30分まで)

休 館 日 月曜日(但し、8月9日は開館し翌日休館)

会期中の休館日：6/28、7/5・12・19・26、8/2・10・16・23・30

観 覧 料 一般：200円(160円)、大学・高校生：160円(100円)

- 身体障害者手帳、療育手帳、精神障害者保健福祉手帳の交付を受けた方、および付き添いの方1名、65歳以上の方、中学生以下は無料となります。
※受付で、手帳、マイナンバーカード、運転免許証、保険証、学生証等をご提示ください。
- ()内は20名以上の団体割引料金です
- インターネット割引券をご提示の方は2名様まで団体料金でご覧いただけます

主 催 高崎市タワー美術館

関 連 事 業 実施せず